

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 29日

中施策事業名	市道等維持管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路、橋梁及び公共用物の占用、承認工事に関すること ・道路及び公共用物の維持修繕に関すること ・定期及び春秋の土砂回収業務に関すること ・橋梁の長寿命化計画及び実施に関すること ・道路等の草刈業務に関すること ・道路等照明施設の維持修繕に関すること ・道路パトロールの実施並びに対応に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
路面調査による舗装修繕進捗率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	70	80	90	100	10	20
	実績値	71	84				
	単位	%					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				219,487千円	226,952千円	
	a 事業費合計			219,487千円	226,952千円	256,315千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				1,925千円
③ コスト (①－②)				217,562千円	223,141千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3,161 円	3,243 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 老朽化した道路舗装を長寿命化のための修繕を行った。橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁点検を実施した。また、道路等の草刈を実施し、車両等の視認性を確保した。これらにより、道路の利用者が安全で安心に通行できる道路環境の整備を実施することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き計画的に舗装修繕を行っていくとともに、立地適正化計画に掲げる居住誘導区域においては予防保全も視野に入れ地域の魅力を高めるように努める。橋梁点検も個別施設修繕計画に基づき実施していくとともに、新技術の活用を検討する。草刈等の道路維持管理については要望の必要性、優先性を考慮し実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	要望等で毎年実施している草刈・道路清掃等の業務は頻度等を考慮し、年度委託に含むことにより費用を抑える。持続的な維持管理のために計画の見直しを行い施設の長寿命化が図れるよう舗装修繕を実施していく。橋梁については、予防保全することにより長期の経費を抑えることができるか検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 前後駅前広場デッキ整備事業	内容、理由、時期等 利用者が安全で安心して通行できるため及び市の玄関口としての景観保全を目的としてデッキの整備改修を実施する。令和4年度設計、令和5年度工事施工。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 8日

中施策事業名	交通安全施設管理・整備事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・交通安全施設要望の事務に関すること ・交通安全施設の維持補修に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
通学路安全プログラムによる交通安全施設整備実施率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				43,656千円	43,880千円	
	a 事業費合計			43,656千円	43,880千円	36,414千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				5,163千円	9,425千円	5,170千円
③ コスト (①－②)				38,493千円	34,455千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				559 円	501 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 市内各区長から提出される交通安全施設工事要望書に基づき、通学路に該当する箇所を優先的に必要な対策を実施した。通学路交通安全プログラムについては、緊急性に応じて順次実施している。未就学児の移動経路については、対策必要箇所として抽出された箇所は、計画された対策は実施完了した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	通学路交通安全プログラムの確実な運用を継続実施していく。交通安全施設要望についても優先度・緊急度を考慮し必要な対策を実施していく。通学路緊急合同点検により抽出された対策必要箇所については、漏れのないように確実に実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	通学路交通安全プログラムの確実な運用を継続実施していく。道路付属施設(街路灯等)の更新を計画的に実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 6日

中施策事業名	道路新設改良事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安心して通行できるよう道路が整備管理されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること ・道路、橋梁工事の調査及び設計施工に関すること ・道路、橋梁工事の災害復旧に関すること ・社会資本総合整備計画（道路局）に関すること ・市町村土木補助事業に関すること ・特定交通安全施設等整備計画に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
区長要望工事の採 択率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	35	35	35	35	50	50
	実績値	56	38				
単位	%						
管理者施工	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4	4	0	0	4	4
	実績値	14	8				
単位	箇所						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				141,734千円	140,497千円	
	a 事業費合計			141,734千円	140,497千円	173,310千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				14,907千円	39,869千円	42,962千円
③ コスト (①－②)				126,827千円	100,628千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1,843 円	1,462 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 土木工事实施のための基本制度である区長要望制度に基づき、多くの要望を実施することができ、安全で安心な通行可能となる道路整備を実施できた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	管理者施工として現在整備を実施中の地区に加えて、側溝等の老朽化が著しい地区について、整備計画を策定する必要がある。特に公団施設の地区については施工後40年以上経過しており、早急な対応が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	整備計画に基づき、計画的に施工を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 15日

中施策事業名	街路樹管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	緑の多い生活環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	緑の多い生活環境となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 街路樹の維持管理に関すること ・ アダプトプログラムに関すること。		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
街路樹による要望等の件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	25	23	22	20	20	20
	実績値	17	25				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				36,464千円	38,383千円	
	a 事業費合計			36,464千円	38,383千円	37,208千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				36,464千円	38,383千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				530 円	558 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 街路樹の適正管理に努めているが、要望件数は期待したような減少傾向にはない。目標の達成のために今後も継続して実施していくとともに、交通の支障とならないよう、地域住民の負担軽減が図れるように引き続き適正な管理を行っていく必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	経年により巨大化し、倒伏の恐れのある樹木および、交通施設、道路管理地外への影響がある樹木については、点検確認後に計画的に伐採していくことにより適正な管理を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き点検を実施し、台風等の強風での倒伏を未然に防ぐための管理を継続的行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 27日

中施策事業名	農業環境保全事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	農地（勅使水系）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	広域的な活動による農地の保全管理		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 多面的機能支払事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
事業の達成率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	79	80	81	82	83	84
	実績値	79	80				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				7,170千円	6,957千円	
	a 事業費合計			7,170千円	6,957千円	7,205千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				5,247千円	5,088千円	5,247千円
③ コスト (①－②)				1,923千円	1,869千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				28 円	27 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 勅使水系環境保全の会における多面的機能支払交付金の活動がより効果的となるよう、定期的に役員会を開催し中間報告等を行い、効率的な活動を促進することで目標を達成することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	毎年度の評価結果を踏まえて翌年度の活動内容を見直し、目標に向けた効率的な活動を促進する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	農業農村地域に存する排水路等については、設置後30年以上経過しており老朽化等による施設破損が発生している。施設の機能が適正に維持、発揮できるようにするため、長寿命化対策の地区計画を作成する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 6日

中施策事業名	土地改良施設維持管理事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業施設の長寿命化を図ることで、安定した農業基盤の基もと農業を営むことができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・農業土木工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること・排水機の維持管理に関すること・維持管理適正化事業に関すること・単県事業（工事発注、申請書作成）に関すること・土地改良施設（ため池、用排水路）の維持管理に関すること・農業取水施設等の他自治体との調整に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
維持管理施設整備率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	70	70	70	70	70	70
	実績値	70	70				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				113, 112千円	111, 691千円		
	a 事業費合計			113, 112千円	111, 691千円	129, 695千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				30, 016千円	25, 559千円
③ コスト (①－②)				83, 096千円	86, 132千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 207 円	1, 252 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 排水機場・用排水路等の土地改良施設に対して、適切な時期に適切な内容で維持管理をすることにより、施設の長寿命化を図る事業である。これまで、ため池の改修等を行うことにより目標を達成できた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	排水機場、用排水路等の土地改良施設は、設置後30年以上経過している施設が多くあり、今後更新していくには膨大なコストが必要となる。更新等修繕に係る費用の平準化を図り、計画的な維持管理を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	次年度以降も改善事項が継続できるよう関係機関と調整し事務を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等